

かわ かつ てい
 ⑤1 川勝邸のイヌマキ

樹種 ● イヌマキ…マキ科

Podocarpus macrophyllus (Thunb.) D. Don

所在 ● 亀岡市旭町福田2

管理者 ● 川勝正治

台帳 ● No.2-101

1995年11月6日測定

胸高幹周 = 2.27m

長径 / 0.74m

短径 / 0.71m

樹高 = 12m

枝張 = 東西 / 8.5m

南北 / 7.0m

標本 = 桂川No.3

環境と特徴

亀岡盆地の北東に広沢の池があり、その北側に大雲寺がある。その寺から20mほど東に行った南側に立派な門構えの川勝邸がある。

その家の門をくぐり玄関にいたるまでの北側の中庭にこの木が植わっている。

幹は真直ぐ伸び、根元より6mの所から下枝を出している。その上3mの所で幹は3つに分かれ上に伸びている。それぞれの幹からは、四方に太い枝を張り出し葉を繁らせている。

樹形は自然樹形だが、上部は人の手により切られた痕跡がある。樹勢は旺盛。

この木は、個人の屋敷内のものとしては立派で、大切にされてきた様子が伺える。幹は真直ぐ上に伸び、母屋の屋根を越える。いつ頃この木が植えられたのかはわからないが、この家の主人にかわりこの家を守っているようである。

常緑高木。庭木や生垣によく使われる。日本の野生植物木本 I (平凡社: 1989) によれば、本州 (関東以西の主として太平洋側)・四国・九州・琉球の海岸沿の山地に生え、台湾・中国大陸に分布する。材は水湿に強いため、屋根板、桶、棺、下駄などに使われる。マキは真木の木、または勝った木の意味で、イヌはいやしんだ意味から名が付いたという説がある。

花期6月中旬。

(桂川)



▲庭から見る (撮影・1995.11.6)